

# 人文学部卒業研究

題 目 プロ野球におけるファンが満足するチーム像とは  
-中日ドラゴンズと横浜 DeNA ベイスターズを題材に-

指導教授 栗木 千恵子 印

提出年月日 2018年12月11日

学籍番号 HI15045

氏 名 永井 新吾

プロ野球におけるファンが満足するチーム像とは  
-中日ドラゴンズと横浜 DeNA ベイスターズを題材に-

HI15045 永井新吾

要旨

プロスポーツチームには競技に関わらず多くのファンが存在する。その中でも日本トップクラスの人気を誇るものがプロ野球だ。プロ野球は1球団年間140試合程度開催されるにも関わらず毎試合最低2万人程度を動員する巨大コンテンツである。しかし近年のプロ野球は次世代の野球離れが深刻化しているほか、中継の視聴率や観客動員数の低下などただ球場で野球を見せるだけではファンが満足せず興行として成り立たなくなっている。そこで各球団は地域密着や、本拠地球場のボールパーク化などでファン獲得に努めている。ファン満足度向上のためには当然ファンのニーズに応えることが満足するチームを作り上げるにおいて重要になってくる。ではファンが満足するチーム像というものはどういったものか。ファンが満足するチーム像を考えたとき真っ先に挙がる要因は覇頂とする球団のチームの強さ。つまりチーム成績の良いチームである。実際中日ドラゴンズ元監督の落合博満氏は「勝つことが最大のファンサービス」と発言している。一方で読売ジャイアンツの終身名誉監督である長嶋茂雄氏は敗色濃厚となってもファンが主力選手を見たいだろうと考え、主力選手を使い続けた。それでも筆者は覇頂球団が勝つこと、つまり強いことがファンを満足させるには1番有効と筆者は考えていた。しかし先行研究である「プロ野球満足度調査」の結果を調査すると必ずしも覇頂の球団が勝つことのみがファンの満足度にリンクしないことが判明した。もちろん覇頂とする球団が勝つことが重要だが、近年はファン層の変化により、試合の勝ち負けだけがファン満足度に影響しない傾向にある。そこで本研究の目的は覇頂とする球団の勝利、強さ以外にファンを満足させる要素とはどのようなものを調査し、明らかにすることである。

本研究では調査対象を先行研究である「プロ野球満足度調査」でチーム成績の低迷とともに2年連続ファン満足度調査最下位となった中日ドラゴンズ（以下中日）とチームの強さと反比例にファン満足度伸ばしてきた横浜 DeNA ベイスターズ（以下横浜）という対比的な2球団とする。

研究方法は先行研究の「プロ野球満足度調査」のデータをもとに過去を遡り調査する。そのほか中日の本拠地であるナゴヤドームと横浜の本拠地である横浜スタジアムに筆者が足を運び、球場のイベントや球場のグルメなどを現地調査する。

そこで得られた結果を元にファンが満足するチーム像というものを明らかにしていく。また最後にファン満足度が2年連続最下位となった中日にファン満足度向上のための施策の提唱をしたい。

キーワード

プロ野球 ファン満足度 ファンサービス 中日ドラゴンズ 横浜 DeNA ベイスターズ

## 目次

1. 序論 .....	1
2. 両チームのファンサービス比較 .....	2
2.1 1試合の流れ.....	3
2.2 グッズ展開.....	4
2.3 試合イベント.....	5
2.4 本拠地球場.....	6
2.5 ファンクラブ.....	8
3. 横浜 DeNA ベイスターズファン満足度躍進の要因 .....	9
3.1 ファン満足度推移.....	10
3.2 マーケティング戦略 .....	10
3.3 ボールパーク化.....	11
3.4 球場演出 .....	12
3.5 地域密着 .....	13
3.6 メディア戦略.....	14
4. 中日ドラゴンズファン満足度低迷の要因 .....	14
4.1 ファン満足度推移.....	15
4.2 ファン、選手の声が届かない閉鎖的な球団経営 .....	16
4.3 わかりづらく定着しにくい球場演出 .....	16
4.4 活かしきれしていない 106 ビジョン.....	17
4.5 地域との関係が疎遠 .....	18
5. ファンを満足させるチームになるために.....	18
5.1 本拠地球場の試合イベント.....	18
5.2 獲得したいファン層の明確化.....	19
5.3 地域密着球団を目指す .....	20
6. 中日ドラゴンズファン満足度向上のための提唱.....	20
6.1 試合イベントの改善 .....	20
6.2 チケット価格見直し .....	22
6.3 駅に着いた瞬間から非日常感を演出する.....	23
参考文献.....	25
参考 Web ページ .....	25
用例出典一覧.....	27
付録 1 .....	i
付録 2 .....	iii
付録 3 .....	iii
付録 4 .....	iv
付録 5 .....	iv
付録 6 .....	v
付録 7 .....	v
付録 8 .....	vi
付録 9 .....	vi